

柴田教授が東京医科大学主催『第56回医科学フォーラム』特別講演に招聘される

第56回 医科学フォーラム

— From molecules to human systems —

日時：平成29年3月10日(金)、午後6時より

場所：東京医科大学病院

教育研究棟(自主自学館)3階 大教室

演者および演題：

『孤発性筋萎縮性側索硬化症における鉄、グルタミン酸および TDP-43 の関連性』

東京女子医科大学 病理学第一講座
教授・講座主任 柴田亮行先生

講演会終了後、カフェテラス(病院6F)にて懇親会を予定しています。

第56回医科学フォーラム担当幹事：

高齢総合医学分野
薬理学分野

馬原 孝彦
松岡 正明



ALS における脊髄内鉄過剰



ミクログリアのグルタミン酸過剰産生放出



運動ニューロンにおけるTDP-43リン酸化凝集

自験データとともに持論が展開された。
基礎系研究者が多かったためか質疑応答が活発だった。

